

秋田元気創造イノベーション推進地域

森林バイオマスの循環型利活用の実践と森林管理の最適化

総合調整機関

公立大学法人 秋田県立大学
〒010-0195
秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438
TEL018-872-1500

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

- 産…秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会
- 学…秋田大学、**秋田県立大学**、秋田工業高等専門学校、秋田県総合食品研究センター、秋田県産業技術センター、秋田県畜産試験場
- 官…秋田県
- 金…株式会社秋田銀行、株式会社北都銀行



プロジェクトディレクター
高田 克彦

略歴：1992年北海道大学大学院博士後期課程修了。科学技術庁科学技術特別研究員、九州大学助手、秋田県立大学助教授を経て、2007年より同教授。博士（農学）。

森林バイオマス資源の総合的・循環的な利活用による林業及び木材産業の成長産業化は日本再興戦略において重要なテーマの一つである。我々は、特徴的なスギ微粉碎木粉を利用した新事業の創出とそれを可能にする森林資源管理とサプライチェーンの最適化、地域を牽引するビジネスリーダーの育成を通して、関連企業のクラスター化による森林産業の構築を目指していく。

地域イノベーション戦略

本事業の基盤技術であるタンデムリングミル型微粉碎機による木材微粉碎技術を実用化するために研究者を招聘し、特徴ある粉碎品の新規需要を開拓すると共に、地域木質資源の循環型利活用を促進するため、木材の効率的な集材法と川上から川下までのサプライチェーンを確立する。また、地域産業を牽引するイノベーター人材の育成、知のネットワーク化による異分野交流促進の事業を実施することで、森林資源利用におけるパラダイムシフトを図る。

事業の内容

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

(実施機関：秋田県立大学)

木質バイオマスを大容量・省エネルギーかつ連続で微粉碎できるタンデムリング型粉砕機の実用化を目的に研究者を招へいた。この事業によって、実用規模のバイオエタノール製造プラントにも対応できる処理量の大きな粉砕機を開発し、秋田県に豊富に存在する木質バイオマス資源を木質バイオエタノール、木質系飼料、木材・プラスチック複合材料等へ利活用することを可能とし、秋田県が目指す「地域イノベーション戦略」の一端を実現する。



タンデムリング型粉砕機

2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施 **(実施機関：秋田県立大学)**

目指すべき人材像を『地域資源（農林水産系総合地域資源）を活用したビジネスチャンスを見出せ、事業立上げ事業推進及び地域産業を牽引出来るイノベーション・マインドを持ったビジネス・リーダー』と定義して、プロダクト、プロセス、マインドという3つの領域におけるイノベーションに関わる講義・実習を主体とした人材育成プログラムを開発・実施し、秋田県の「地域イノベーション戦略」を具現化する人材を育成する。

3. 大学等の知のネットワークの構築

(実施機関：秋田県立大学)

民間企業出身の地域連携コーディネータを1名配置し、大学等の技術シーズの発掘と木質バイオマス資源に関する地域の技術シーズ情報の収集・整理を行い、本事業の実現に向けた効率的な民間企業との連携体制を構築する。

